

稲田に水入りし
夕べから 一斉に鳴く
カエルの合唱

池田町大字池田3089-4
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093
mail : peace-iked@peach.plala.or.jp
http://web-ariakesan.com/

6月議会は6月7日から17日まで行われました。令和4年度一般会計補正予算案など議案3件、陳情2件を審査し、全て可決、採択しました。共産党議員の対応と私の一般質問の概要をお知らせします。

《私の一般質問》

1. 自治会未加入者対策に町の調査と支援を

近年、自治会未加入の方が増えており、災害時の助け合いなどで地域コミュニティが機能するか心配である。自治会未加入の現状と対策を検討するため質問した。

＜町回答＞ 令和4年度の自治会加入率は73%であり、過去10年間で15%低下している。今後、自治会協議会で各自治会に未加入対策へのアンケート調査を依頼し、調査結果をもとに協議会で意見交換する。出た意見をまとめて各自治会に配布し、未加入対策の参考にさせていただく。

2. 社口原（滝沢地区東）の農業振興策の検討状況は

社口原の民間企業による開発計画は白紙になった。社口原は約10年前に国・県の多額な助成金を用いて荒廃桑園を農地にしたため農業経営を継続することになっている。しかし、今まで農業経営を担ってきた池田ファーム滝沢支部の農業者の高齢化や、猪・鹿による食害で農業生産の維持が困難になっている。今年の3月議会に続き社口原の農業振興の取り組みを質問した。

【質問1】 社口原の条件にあい、猪や鹿が嫌うなどの適正栽培作物を検討できないか。

＜町回答＞ 同地の条件にあった作物としてブドウが適しているとの意見を県からいただいている。

【質問2】 ブドウは農薬を使うので場所的に難しい要素があるのでは。

＜町回答＞ 一つの案である。検討していく。

【質問3】 社口原にあった作物を試験栽培で検討するため地域おこし協力隊員と集落支援員（※）の採用を。

※地域の实情に詳しく、集落の課題解決に適した人材を「集落支援員」として町が委嘱する。国から特別交付税による財政支援がある。

＜町回答＞ 総合的に検討していく。

3. 想定最大規模降雨時の緊急避難場所の地区指定を

【質問】 想定最大規模降雨時に地区防災会が避難者を確認し易くするために、町は緊急避難場所の地区指定を。また、以前行っていた避難所運営協議会の再開を。

＜町回答＞ コロナ感染下での町の緊急避難場所に逃げられる人数は総計で1200人弱である。各自、町の避難場所以外の避難場所をご検討いただきたい。親戚などと避難したい人もいますので町は緊急避難場所の地区指定を避けたいと考えている。避難所運営協議会については検討していきたい。

◎ 令和4年度一般会計補正予算

○補正額 2,834万円

○全議員の賛成で可決

○補正予算の目玉事業

- ・子育て世帯生活支援特別給付金事業 445万円
低所得世帯に子ども1人当たり5万円を支給する。

【財源】 県補助金 445万円

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 . . . 414万円
4回目接種を7月6日から行う予算

【財源】 国補助金

- ・農業振興事業 . . . 300万円
水稻育苗ビニールハウス2棟の建設を補助する。

【財源】 県交付金

- ・地域資源再発見・発信事業 . . . 236万円
浅原六朗の生い立ち、業績などの映像コンテンツを作成し発信する。

【財源】 県支援金 131万円
町一般財源 105万円

◎陳情

「水田活用の直接支払交付金の見直しに関する陳情」

- ・内容：転作田を本年度から5年間に一度、稲作田に戻さないと交付金を支給しない国方針の見直しを求める。
- ・全議員の賛成により採択
(薄井孝彦：賛成討論)

◎陳情 再審法改正を求める陳情

- ・内容：冤罪被害をなくすため再審法の改正を求める。
- ・全議員の賛成により採択
(服部久子：賛成討論)